

# 京都府漁海況情報

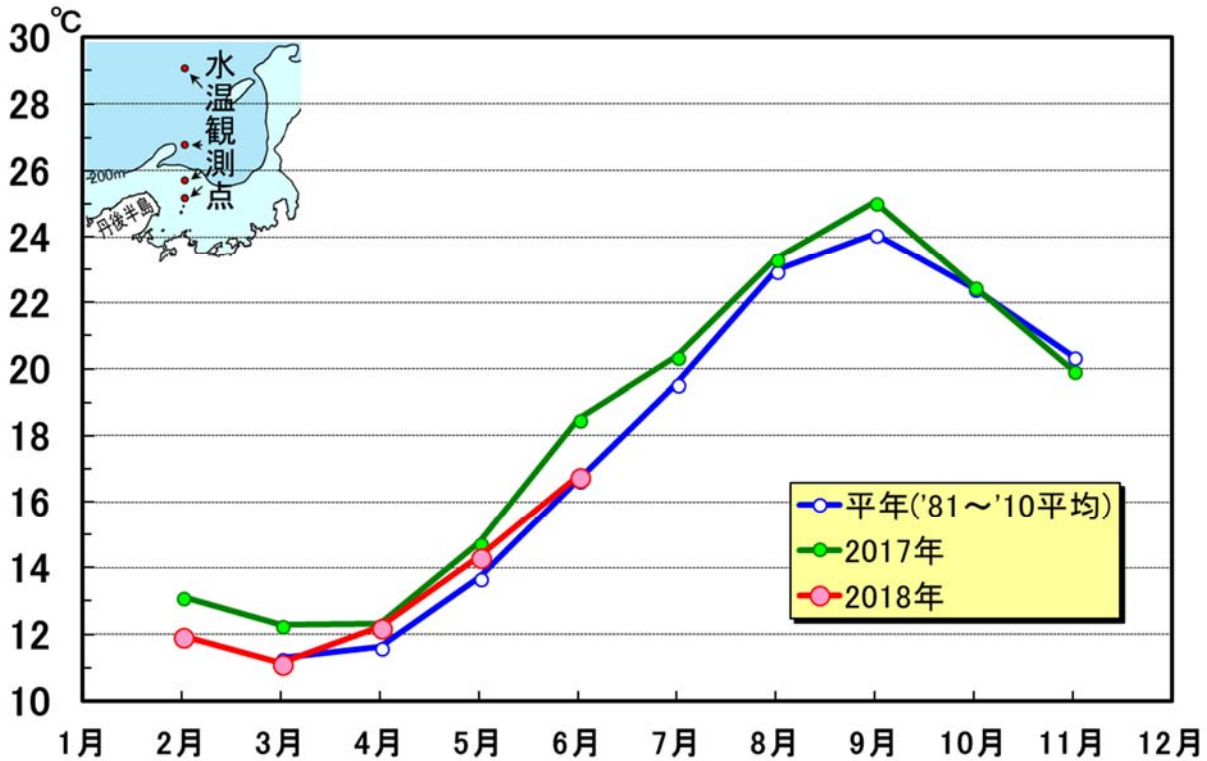
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

平成 30 年 4~6 月における京都府周辺の表層水温は、平年より「やや高め」~「平年並み」で推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較

	4 月	5 月	6 月
京都沖の表層水温	12.2 °C	14.4 °C	16.8 °C
前年比	-0.1 °C	-0.4 °C	-1.7 °C
平年比	+0.6 °C (やや高め)	+0.7 °C (やや高め)	+0.1 °C (平年並み)

4~6 月の天気まとめ

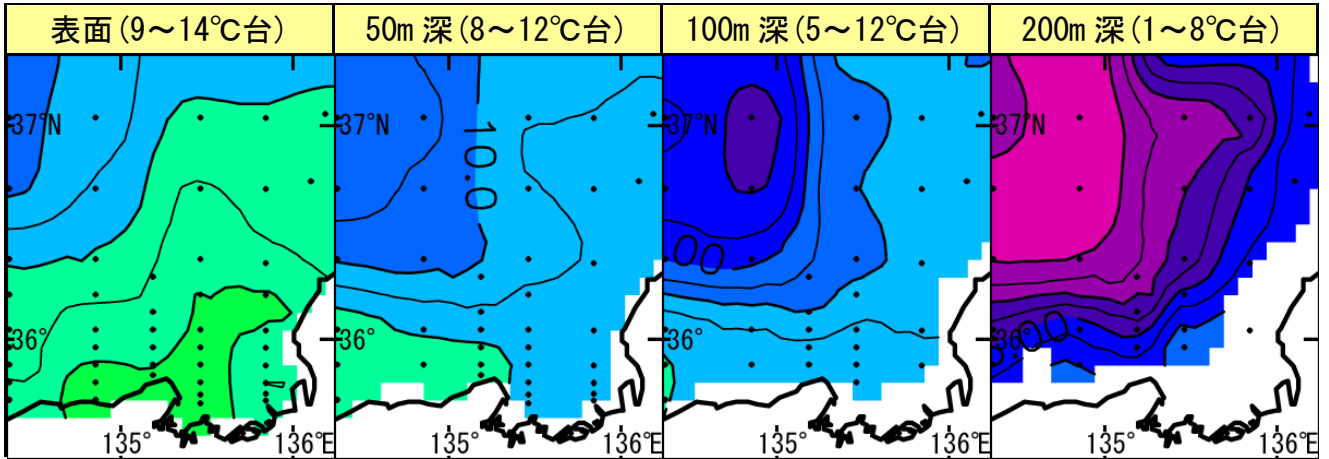
京都北部周辺の平均気温	平年よりかなり高かった。
京都北部周辺の降水量	平年より多かった。

資料元：気象庁

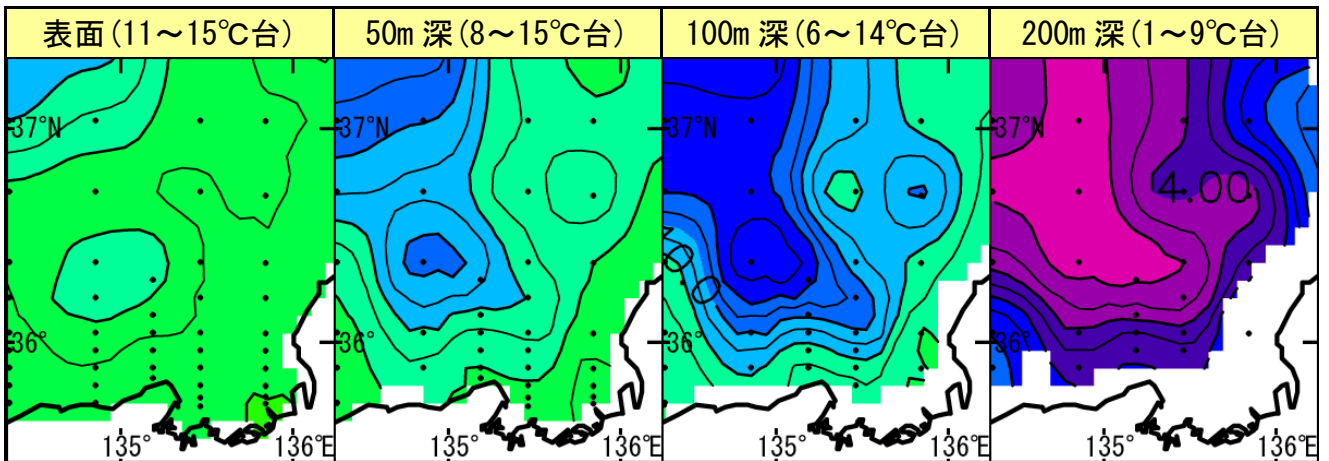
京都府周辺の各層水温(2018年4~6月)

4月上旬

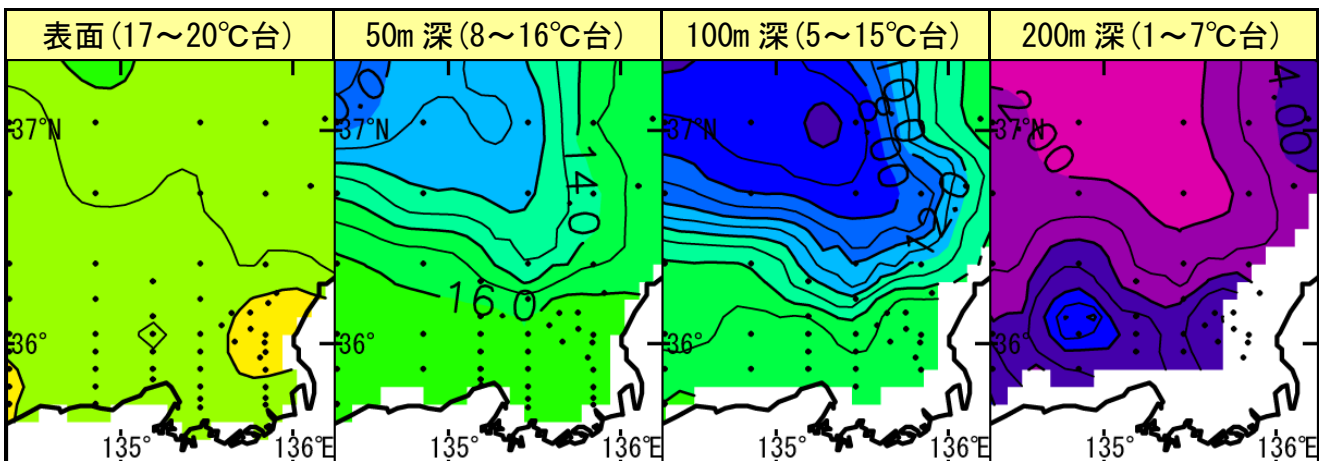
資料元：日本海区水産研究所



5月上旬



6月下旬



【今後の見込み】

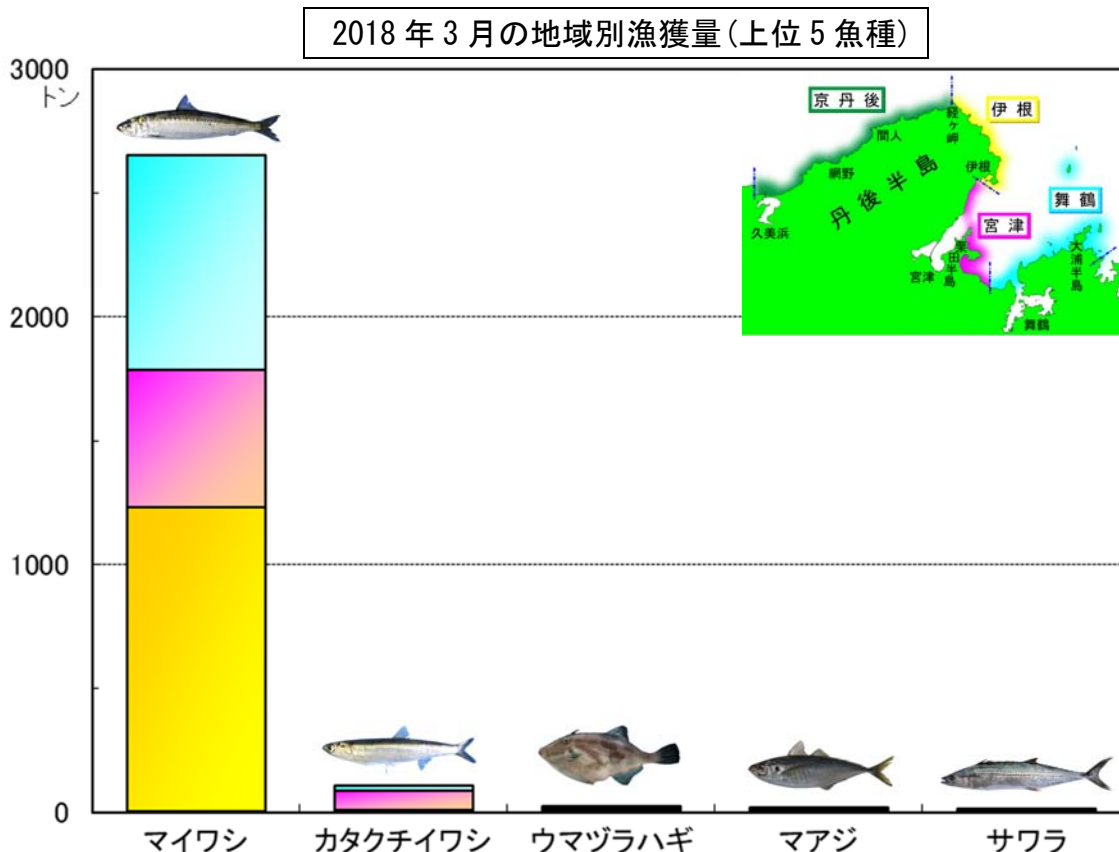
資料元：気象庁

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	平年より「高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	平年より「強め」で推移する見込み

# 漁模様 2018年3月～2018年5月

## 《定置網漁業》【3月】

マイワシが平年の27倍、ウマヅラハギが平年の1.7倍（前年の15倍）と好調でした。一方、カタクチイワシが平年の4割強（前年の7割弱）、サワラが平年の2割強（前年の6割弱）と低調でした。全体では平年の4.9倍（前年の9.3倍）と好調でした。



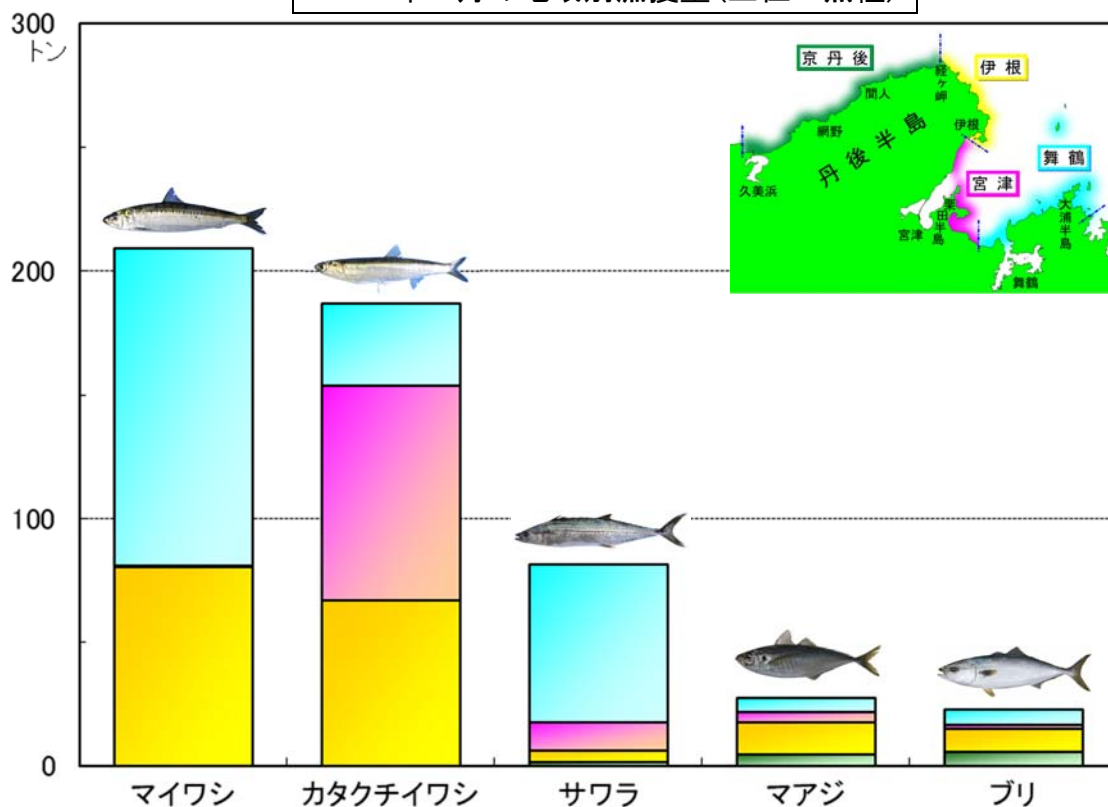
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
マイワシ	2654.3	0.0 -	97.5 (2723%)	＜マイワシ＞ 16～23 cm台が主体でした。
カタクチイワシ(たれ)	108.6	166.4 (65%)	254.1 (43%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	23.0	1.5 (1501%)	13.9 (166%)	＜カタクチイワシ＞ 4～10 cm台が主体でした。
マアジ	18.1	6.6 (275%)	43.4 (42%)	
サワラ	17.0	29.0 (59%)	71.5 (24%)	＜サワラ＞ さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が8割弱、さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満)、さわら大銘柄(3.0 kg以上)は1割強、やなぎ銘柄(0.4kg 未満)はごくわずかでした。
サバ類	12.4	2.4 (510%)	25.0 (50%)	
イカ類	8.0	18.4 (43%)	21.4 (37%)	
ブリ	5.6	6.2 (90%)	6.2 (90%)	
カナガシラ	2.8	3.5 (80%)	6.1 (45%)	
スズキ	2.6	22.3 (12%)	11.6 (23%)	
その他	12.8	53.2 (24%)	35.8 (36%)	
合計	2865.2	309.5 (926%)	586.3 (489%)	

平年は過去10年平均

## 【4月】

カタクチイワシが平年の4.0倍と好調でした。一方、サワラが平年の5割強（前年の6割強）、マアジが平年の4割弱（前年の1.4倍）、イカ類が平年の1割強（前年の1割弱）と低調でした。全体では平年の7割弱（前年並み）でした。

2018年4月の地域別漁獲量(上位5魚種)



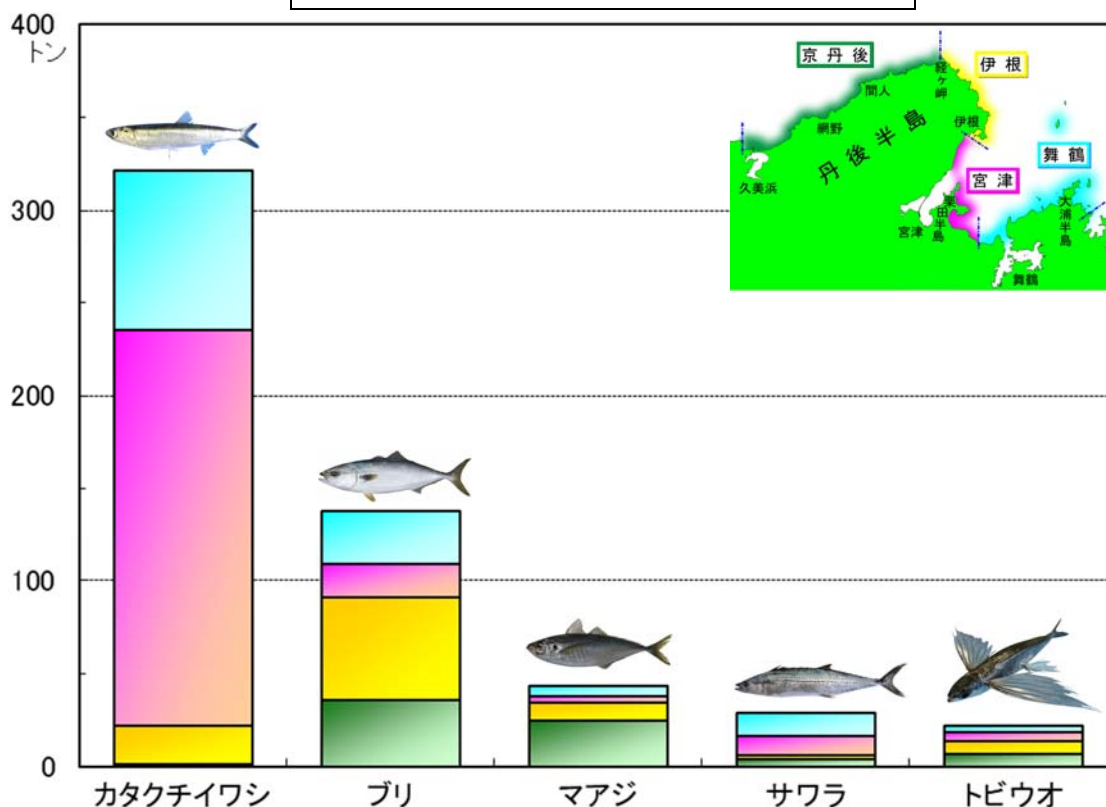
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
マイワシ	209.1	0.0 —	52.8 (396%)	<マイワシ> 10~20 cm台が主体でした。  <カタクチイワシ> 4~11 cm台が主体でした。  <サワラ> さごし銘柄(体重 0.4kg 以上 1.0kg 未満)が7割強, さわら銘柄(1.0kg 以上 3.0kg 未満)は2割強, さわら大銘柄(3.0kg 以上), やなぎ銘柄(0.4kg 未満)はごくわずかでした。
カタクチイワシ(たれ)	186.6	172.7 (108%)	414.2 (45%)	
サワラ	81.0	126.3 (64%)	148.8 (54%)	
マアジ	27.3	19.3 (141%)	69.5 (39%)	
ブリ	22.9	147.5 (16%)	59.7 (38%)	
スズキ	12.8	17.2 (74%)	15.7 (81%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	6.2	12.9 (48%)	10.7 (58%)	
イカ類	3.9	42.0 (9%)	30.4 (13%)	
タイ類	3.9	6.3 (62%)	8.5 (46%)	
サバ類	3.5	21.5 (16%)	5.4 (65%)	
その他	18.3	42.3 (43%)	41.4 (44%)	
合計	575.6	608.2 (95%)	857.1 (67%)	

平年は過去10年平均

## 【5月】

マイワシが843トン、カタクチイワシが201トン（平年の2.7倍、前年の1.2倍）と好調でした。一方、サワラが平年の8割弱（前年の9割）、イカ類が平年の5割強（前年の7割強）と低調でした。全体では平年の3倍（前年の3.6倍）と好調でした。

2018年5月の地域別漁獲量(上位5魚種)



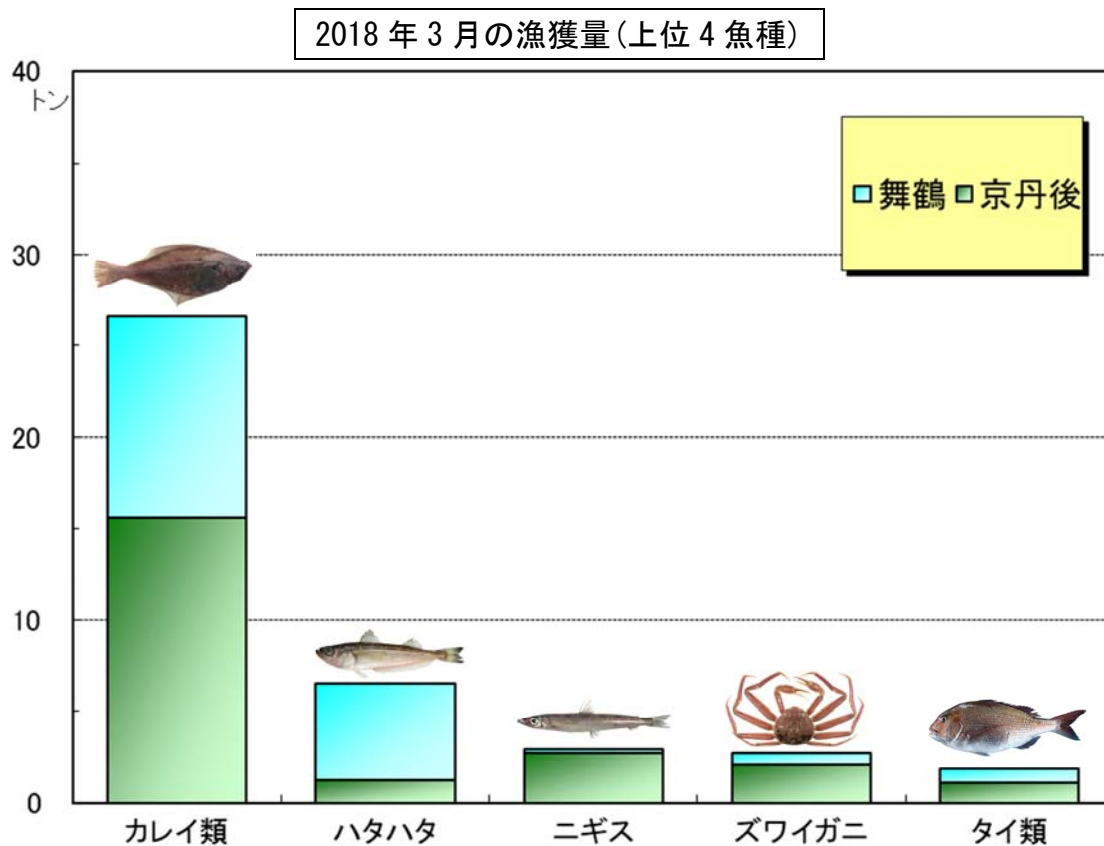
5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	321.4	219.7 (146%)	273.8 (117%)	<カタクチイワシ> 5~10 cm台が主体でした。
ブリ	137.6	130.5 (105%)	243.3 (57%)	<ブリ> ぶり銘柄が5割強, つばす銘柄, まるご銘柄が2割強などでした。
マアジ	43.7	83.8 (52%)	169.2 (26%)	<サワラ> さごし銘柄(0.4kg以上1.0kg未満)が8割強, さわら銘柄(1.0kg以上3.0kg未満)が2割弱, さわら大銘柄(体重3.0kg以上)がわずかでした。
サワラ	29.2	56.1 (52%)	48.9 (60%)	
トビウオ	22.0	16.7 (132%)	12.1 (183%)	
スズキ	13.5	24.0 (56%)	20.0 (67%)	
イカ類	10.6	19.9 (53%)	18.2 (58%)	
タイ類	6.9	9.2 (75%)	10.4 (66%)	
マイワシ	2.9	0.0 —	21.1 (14%)	
ヒラマサ	2.9	9.3 (31%)	6.3 (45%)	
その他	32.5	70.8 (46%)	74.3 (44%)	
合計	623.2	640.1 (97%)	897.7 (69%)	

平年は過去10年平均



## 《底曳網漁業》【3月】

全体の水揚量は、平年の5割強(前年の6割強)でした。

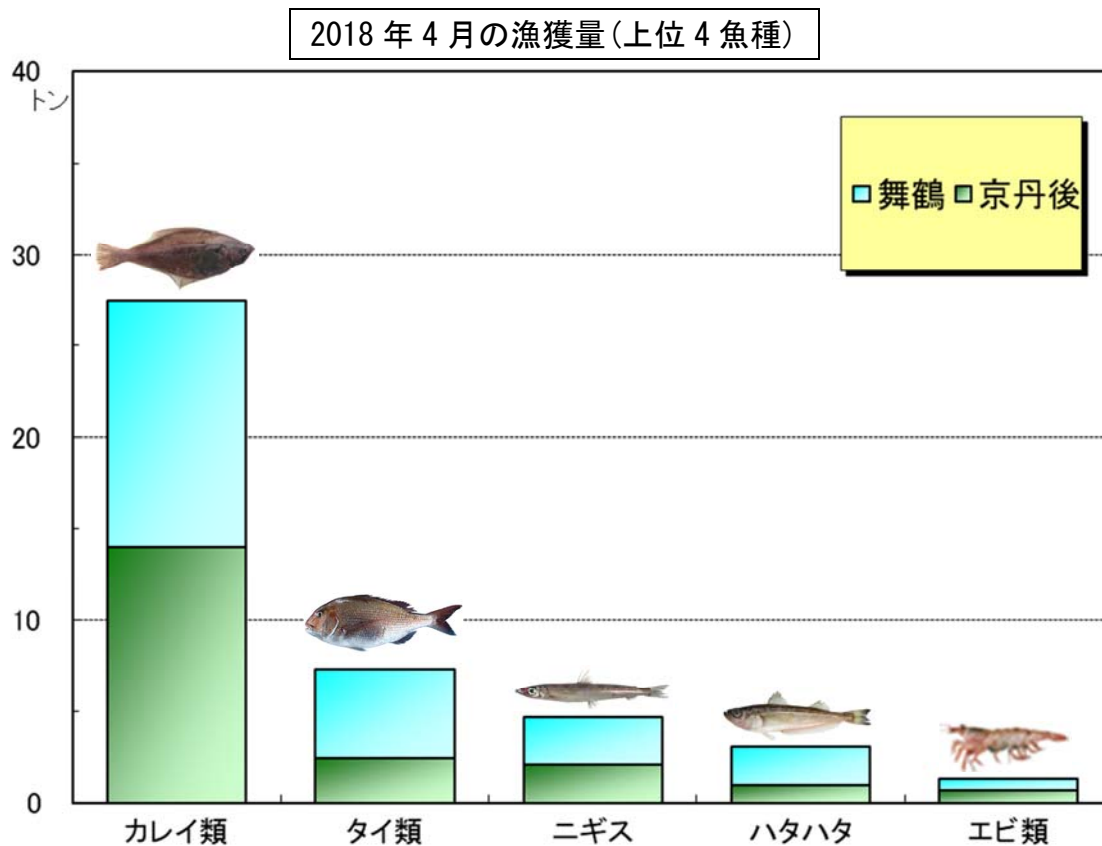


3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	26.6	35.7 (75%)	34.4 (77%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強, クロガレイ(黒かれい)が1割強な などでした。
ハタハタ	6.5	17.7 (37%)	39.1 (17%)	
ニギス(沖きす)	3.0	1.1 (271%)	0.7 (397%)	
ズワイガニ	2.7	5.1 (53%)	3.3 (82%)	
タイ類	1.9	2.1 (89%)	2.2 (86%)	
エビ類	0.8	1.3 (65%)	1.2 (67%)	
スズキ	0.6	1.6 (35%)	1.1 (48%)	
ナマコ類	0.4	0.1 (603%)	0.0 (1773%)	
メバル類	0.4	0.2 (197%)	0.3 (134%)	
タコ類	0.4	0.9 (42%)	0.9 (44%)	
その他	4.1	9.7 (43%)	7.1 (58%)	
合計	47.4	75.4 (63%)	90.4 (52%)	

平年は過去10年平均

## 【4月】

全体の水揚量は、平年の7割弱(前年の1.1倍)でした。

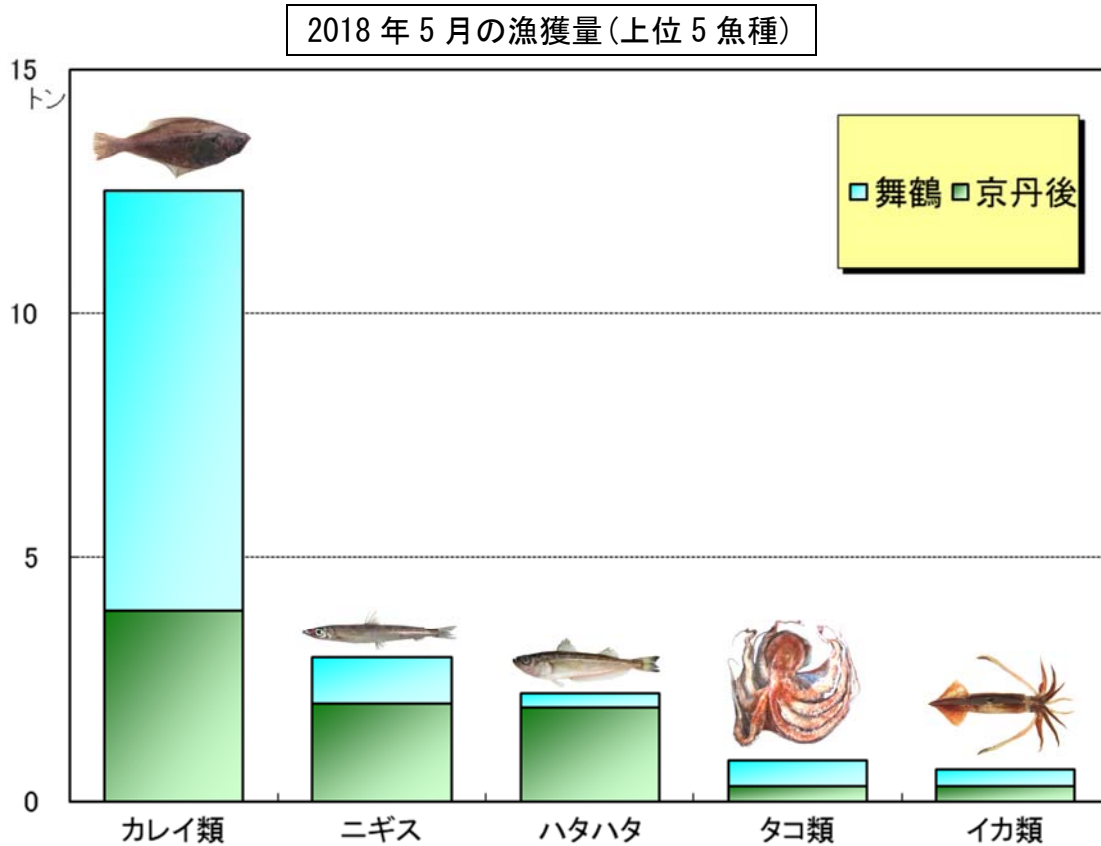


4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	27.5	29.6 (93%)	38.4 (72%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が6割弱, ソウハチ(えてがれい)が2割強, クロガレイ(黒かれい)が1割強 などでした。
タイ類	7.3	1.9 (384%)	1.9 (385%)	
ニギス(沖きす)	4.7	2.3 (199%)	1.5 (304%)	
ハタハタ	3.0	7.2 (43%)	26.0 (12%)	
エビ類	1.3	1.1 (124%)	1.7 (82%)	
タコ類	0.9	1.2 (73%)	1.8 (52%)	
スズキ	0.8	0.9 (94%)	1.0 (85%)	
メバル類	0.8	0.4 (198%)	0.5 (160%)	
アンコウ類	0.6	0.7 (92%)	1.3 (49%)	
タラ類	0.5	0.7 (66%)	0.7 (73%)	
その他	9.3	7.0 (132%)	7.6 (122%)	
合計	56.7	53.0 (107%)	82.3 (69%)	

平年は過去10年平均

## 【5月】

全体の水揚量は、平年の5割弱(前年の8割弱)でした。



5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	12.5	15.3 (82%)	25.2 (50%)	＜カレイ類＞ ソウハチ(えてがれい), アカガレイ(まかれい)が4割強などでした。
ニギス(沖きす)	2.9	6.6 (45%)	3.1 (96%)	
ハタハタ	2.2	2.0 (112%)	12.0 (18%)	
タコ類	0.8	1.5 (57%)	1.9 (44%)	
イカ類	0.7	0.3 (189%)	2.3 (28%)	
エビ類	0.5	0.9 (56%)	0.8 (65%)	
タラ類	0.5	0.9 (61%)	0.8 (63%)	
タイ類	0.5	0.5 (91%)	0.6 (85%)	
メバル類	0.4	0.3 (136%)	0.3 (126%)	
アンコウ類	0.4	0.6 (57%)	1.1 (34%)	
その他	3.7	3.9 (94%)	4.8 (76%)	
合計	25.1	32.8 (77%)	52.9 (48%)	

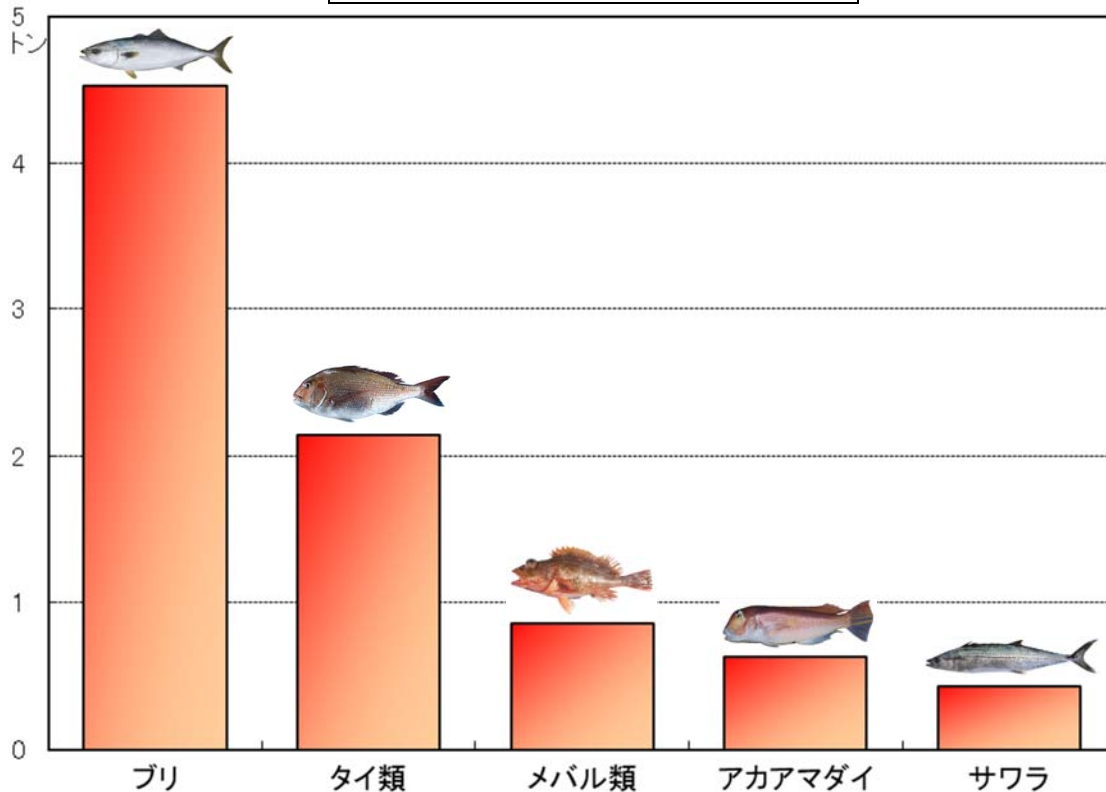
平年は過去10年平均



## 《釣り・はえなわ漁業》【3月】

全体の水揚量は、平年の5割弱（前年の3割弱）と低調でした。

2018年3月の漁獲量(上位5魚種)



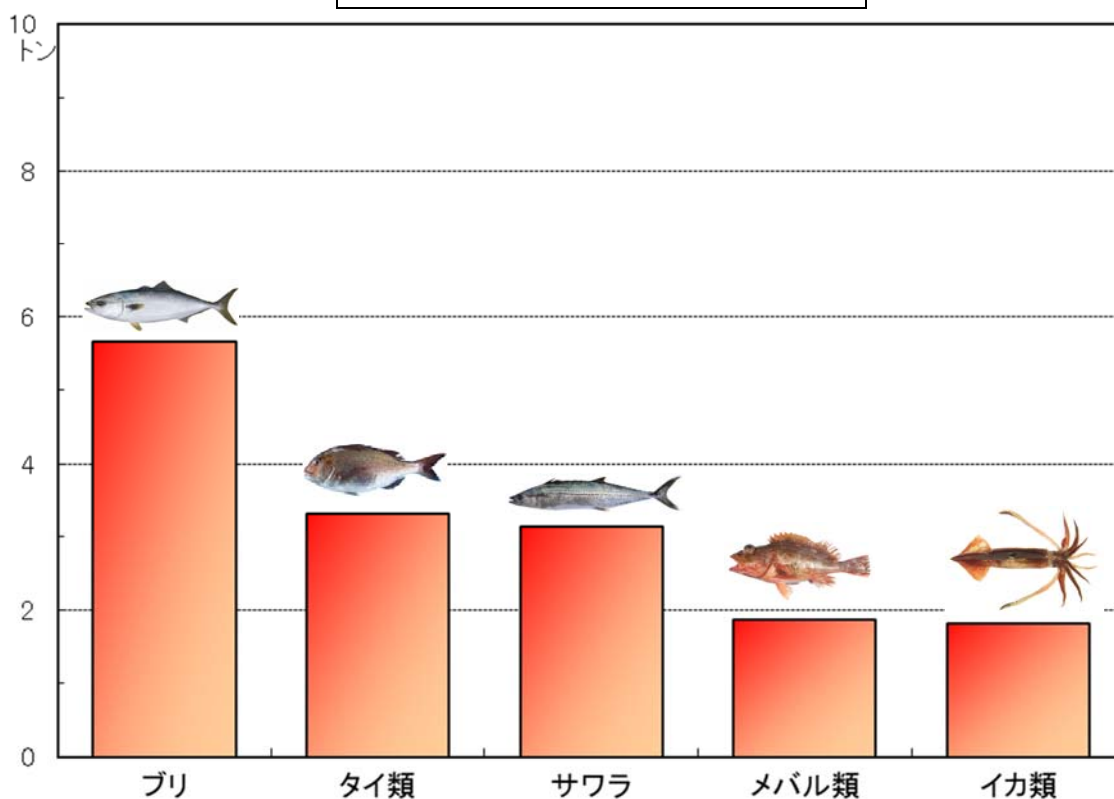
3月漁獲量(トン) 京都府漁協集計						
魚種	2018年	2017年(前年比)		平年(平年比)		備考
ブリ	4.5	31.4	(14%)	12.2	(37%)	<ブリ> ぶり銘柄が4割強, まるご銘柄が4割弱, つばす銘柄が1割強などでした。
タイ類	2.1	2.7	(81%)	1.6	(136%)	
メバル類	0.9	1.3	(65%)	1.2	(72%)	
アカアマダイ(ぐじ)	0.6	2.0	(31%)	1.1	(59%)	
サワラ	0.4	0.4	(115%)	3.3	(13%)	
メジナ(つかや)	0.3	0.1	(228%)	0.1	(532%)	<タイ類> マダイが8割強, キダイ(れんこ鯛)が2割弱などでした。
ホウボウ	0.2	0.2	(77%)	0.1	(148%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.1	0.2	(74%)	0.2	(75%)	
イカ類	0.1	0.1	(191%)	0.1	(86%)	
ヒラマサ	0.1	0.6	(14%)	0.1	(70%)	
その他	0.5	1.2	(45%)	2.0	(27%)	
合計	9.9	40.1	(25%)	21.9	(45%)	

平年は過去10年平均

## 【4月】

全体の水揚量は、平年の5割（前年の6割強）と低調でした。

2018年4月の漁獲量(上位5魚種)



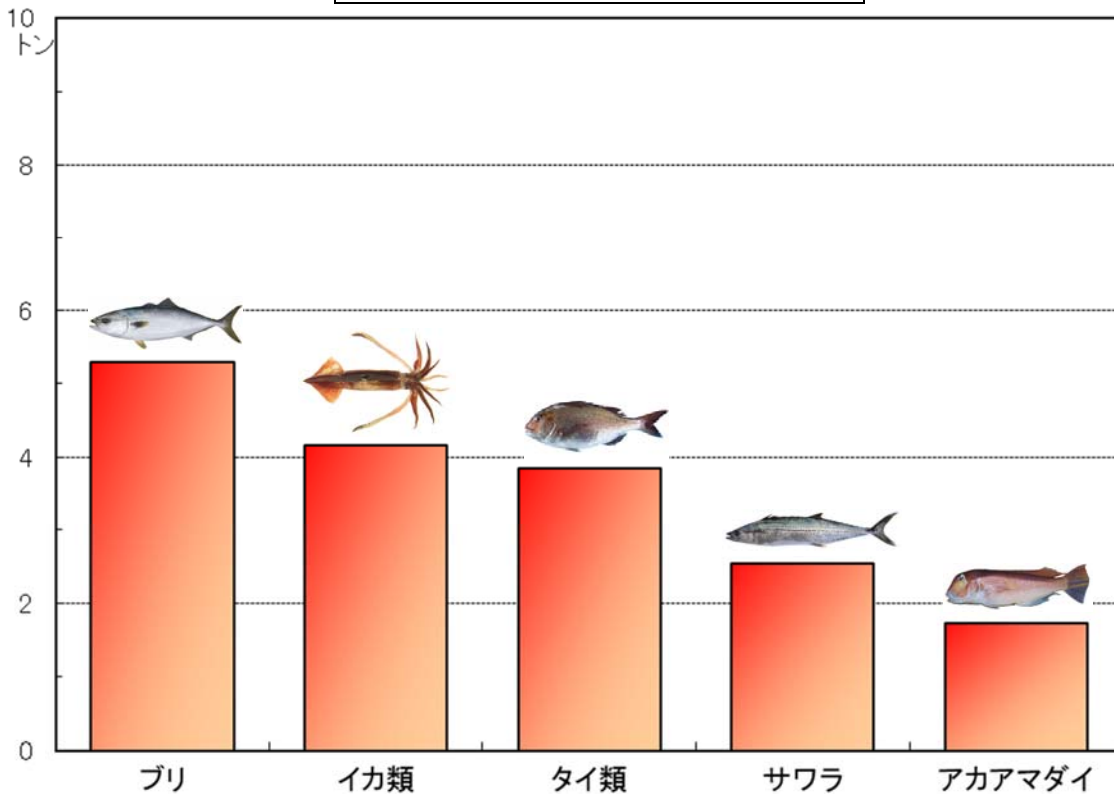
4月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考	
ブリ	5.7	20.5 (28%)	21.2 (27%)	<ブリ> まるご銘柄が8割強、つばす銘柄が1割強、ぶり銘柄が1割弱などでした。  <タイ類> マダイが7割弱、キダイ(れんこ鯛)が2割強、クロダイが1割弱などでした。	
タイ類	3.3	1.8 (183%)	3.2 (102%)		
サワラ	3.2	3.4 (94%)	4.5 (70%)		
メバル類	1.9	0.8 (238%)	1.3 (142%)		
イカ類	1.8	0.4 (427%)	2.9 (62%)		
アカアマダイ(ぐじ)	1.6	1.6 (99%)	1.1 (143%)		
スズキ	0.1	0.0 (218%)	0.6 (19%)		
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.1	0.3 (34%)	0.2 (54%)		
ヒラマサ	0.1	0.4 (23%)	0.2 (55%)		
メジナ(つかや)	0.1	0.0 (679%)	0.0 (283%)		
その他	0.8	0.6 (125%)	1.7 (45%)		
合計	18.6	29.8 (62%)	37.0 (50%)		

平年は過去10年平均

## 【5月】

全体の水揚量は、平年の1割強（前年の2割強）と低調でした。

2018年5月の漁獲量(上位5魚種)



5月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2018年	2017年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	5.3	8.2 (65%)	13.4 (40%)	<ブリ> まるご銘柄が7割強, ふり銘柄が3割弱などでした。
イカ類	4.2	5.8 (72%)	12.3 (34%)	
タイ類	3.8	4.8 (80%)	3.6 (108%)	
サワラ	2.5	1.3 (190%)	3.8 (67%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.7	2.8 (61%)	1.9 (92%)	
メバル類	1.3	1.7 (72%)	1.6 (77%)	<イカ類> スルメイカが9割強でした。
ヒラマサ	0.3	0.2 (134%)	0.1 (213%)	
カワハギ	0.1	0.1 (67%)	0.0 (179%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.1	0.2 (34%)	0.1 (68%)	
カレイ類	0.1	0.1 (67%)	0.1 (84%)	
その他	1.2	1.7 (69%)	2.9 (41%)	
合計	20.5	27.0 (76%)	39.8 (52%)	

平年は過去10年平均